

日中の暑さはやわらぎ、朝夕は肌寒く体調管理が難しい時期となりました。今年度は新型コロナウイルスの影響により、手洗い、うがい、マスク着用による感染症対策が徹底されているためか、例年に比べ各種感染症やインフルエンザなどの流行が軽減しています。寒い冬の到来を前に、更に感染症対策を心がけ、子ども達の健康管理に努めていきたいと思ひます。

★季節の変わり目で、園でも体調を崩し保育中にお熱が上昇する子が増えています。

経過観察の状況報告やお迎えの依頼など要件は様々ですが、保護者との連絡を密に行えるよう、今一度、緊急連絡時の方法や電話番号の確認をよろしくお祈ひします。

★下記の症状が見られる場合は登園を控え、家庭保育をお祈ひします。

- ・朝から37.5℃を超えた発熱とともに元気がなく機嫌が悪い
- ・食欲がなく、朝食・水分が摂れていない
- ・24時間以内に38℃以上の発熱、下痢嘔吐症状がある
- ・24時間以内に解熱剤を使用している

11・12月の保健行事予定

- 11/8(月) 尿・蟻虫検査キッド配布
- 11/10・11 尿・蟻虫検査提出
- 12/3(金) 歯科検診
- 12/6(月) 内科検診

上記の日程で予定しています。
詳細は後日ご連絡いたします。

薄着の習慣は「秋」からスタート

肌寒くなってくると、つい子どもに厚着をさせたりくなりますが、子どもは意外と寒さに強いもの。冬に向けて抵抗力をつけ、丈夫な皮膚を作っていくためにも、今から薄着を心がけていきましょう。

薄着で過ごすコツ

- 寒いときは薄手の上着で調節する
- 肌着を着て保温する
- おなかと背中が出ないようにする

大人より「少し遅く」「1枚少なく」!
大人が「長そでを着よう」と思ったとき、子どもは長そでにするのを少し遅らせる。大人が重ね着するとき、子どもは1枚少なく着せる。こうすると、自然と薄着が習慣づけられます。

秋風が心地よい季節になり、子ども達の戸外での活動も多くなります。子ども達の足の成長は早く、知らぬ間に靴のサイズが合わなくなっている子が見られます。足のサイズに合わない靴を履いていると怪我に繋がります。子ども達が楽しんで安心して戸外での遊びができるよう、お子様の足のサイズに合った靴選び、正しい靴の履き方をご家庭でも子ども達と一緒に確認をしてみたいはかがでしようか。

正しい靴の履き方とチェックポイント

もっと知りたい! 足まめ広場

靴の履き方って、学校で教わっていませんか? 実はこれですごく大事なことです! 履き方ひとつで、歩き方、バランスが全て変わってしまうほどです。運動会で早く走りたいたい! というお子さんには是非とも教えてあげてくださいね!

- 1 ベルトを外し靴をしっかりと持って履き口を大きく広げ、足を入れます。
- 2 かかとがピッタリするように、かかとをトントンと軽く地面に打ち付けます。
- 3 甲の両側を中央に引き寄せ、指で上から押さえます。
- 4 ②で合わせたかかとが離れないようにベルトを引っ張って強く止めます。

CHECK POINT!!

指がグーパー動かせているかな?

つま先のゆとりは人さし指との距離 5mm~10mmが目安

CHECK POINT!!

足にくい込んでいないかな? すき間は多くないかな?

マジックテープは甲に押しあつつけるように止めてね。

CHECK POINT!!

かかとがつぶさないで履いているかな?

きちんと履かないと痛みが出たり靴がはやく壊れてしまいます。